

地域連携センター ニュースレター

保育士や幼稚園教員を目指す児童学科の学生らが、本の読み聞かせを行いました

手遊びや絵本の読み聞かせに関連した活動を行っている、本学人間科学部児童学科・児童文化研究会「ぽっけ」による“おはなし会”が、2018 年 12 月 2 日（日）、大田区洗足池図書館にて開催されました。ぽっけは、同学部同学科の学生で構成されているサークルであり、月に 2 回、本学近隣図書館の利用者を対象に「おはなし会」を開催しています。今回、同図書館で開催するのは初めてということもあり、緊張した面持ちでスタートしました。将来、保育士や幼稚園教員を目指す学生らは、かわいい手遊びで子どもたちの興味をひきつけた後、「だるまさんが」や冬らしいテーマの読み聞かせを行い、終始なごやかな雰囲気でした。会場はときおり笑いに包まれ、約 30 分間のおはなし会に子どもたちは満足した様子でした。



手遊び歌で子どもたちの心を引き付ける学生



本学での学びや練習の成果を披露



保育士や幼稚園教員を目指します！

子どもたちが身振りでロボット操作を体験 ～NHK サイエンススタジアム 2018～

2018 年 12 月 1 日（土）、2 日（日）の 2 日間、日本科学未来館（東京都江東区）において開催された「NHK サイエンススタジアム 2018」に、本学から工学部機械システム工学科・ロボティックライフサポート研究室「指導教員：金宮 好和（D.N. ネンチェフ）教授、佐藤 大祐准教授」が出展しました。同イベントは、「カガクを遊びつくそう！」をテーマに、若い世代やファミリー層に支持される NHK の科学番組が結集し、番組で紹介された生活に密着した驚くような科学実験を提供、身近で不思議な「科学」の世界を楽しむことのできる「体験型科学フェスティバル」です。本学からは、RGB-D カメラ（奥行きまで測ることのできるカメラ）を使って、体を三次元計測することで、身振りで車型ロボットを動かすワークショップを行い、子どもたちは、両手の動きにより「前後」「左右」「斜め」する車型ロボットに興味津々な表情を見せていました。



身振りでロボットを操作する参加者



今年も多くの参加者で賑わいました

「地域連携センター ニュースレター」への
ご要望、情報提供、お問い合わせは下記まで。
■□■ お問い合わせ先 ■□■
東京都市大学 研究推進部地域連携センター
〒158-8557
東京都世田谷区玉堤1-28-1
TEL: 03-5707-0104 (内: 2223・2224)
FAX: 03-5707-2128

